令和7年度 第9学年 理科 年間指導計画及び評価規準

学期	月	時数	主な学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	9	単元1 化学変化とイオン【28】 第1章 水溶液とイオン(8) 第2章 酸、アルカリとイオン(9) 第3章 化学変化と電池(9+予備1) 単元末(1)	・化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオン、酸・アルカリ、中和と塩、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解している(テスト)。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている(行動観察)。	・化学変化とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している(テスト、レポート等)。	・化学変化とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている(レポート等)。
	5	13				
	6	15	単元2 生命の連続性【26】 第1章 生物の成長と生殖(9+予備1) 第2章 遺伝の規則性と遺伝子(9) 第3章 生物の多様性と進化(6) 単元末(1)	・生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解している(テスト)。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている(行動観察)。	・生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している(テスト、レポート等)。	・生命の連続性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている(レポート等)。
2	7	12				
	9	15	単元3 運動とエネルギー【31】 第1章 物体の運動(9+予備1) 第2章 力のはたらき方(7+予備1) 第3章 エネルギーと仕事(12) 単元末(1)	・運動とエネルギーについて日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動、力のつり合いと合成・分解、力のはたらき方と運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解している(テスト)。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている(行動観察)。	・運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している(テスト、レポート等)。	・運動とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている(レポート等)。
	10	14				
3	11	14	単元4 地球と宇宙【26】 第1章 地球の運動と天体の動き(9+予備1) 第2章 月と金星の見え方(6+予備1) 第3章 宇宙の広がり(5+予備1) 単元末(1)	・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようす、日周運動と自転、年周運動と公転、月や金星の運動と見え方、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解している(テスト)。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている(行動観察)。	・地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や太陽、恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している(テスト、レポート等)。	・地球と宇宙に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている(レポート等)。
	12	12				
3	1	11	単元5 地球と私たちの未来のために【29】 第1章 自然のなかの生物(5+予備1) 第2章 自然環境の調査と保全(8+予備1) 第3章 科学技術と人間(7) 終章 持続可能な社会をつくるために(5+予備1) 単元末(1)	・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合い、自然環境の調査と環境保全、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解している(テスト)。 ・経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている(行動観察)。	・植物が増加すると草食動物や肉食動物が時間を追うごとにその数がどのように増減するかを考察することができる。微生物のはたらきの実験結果から、分解者の役割を考察し、判断することができる(テスト、レポート等)。 ・生物と環境、地域の自然災害、日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断するなど、科学的に探究している(テスト、レポート等)。 ・資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している(テスト、レポート等)。	・生物と環境、地域の自然災害、エネルギー資源の利用に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている(レポート等)。 ・自然環境の保全や自然とヒトの関わりについて探究し、自然環境の保全や自然との向かい合い方に関して自らの考えをもつことができる(レポート等)。 ・これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている(レポート等)。
	2	13				
	3	12				
		140				